

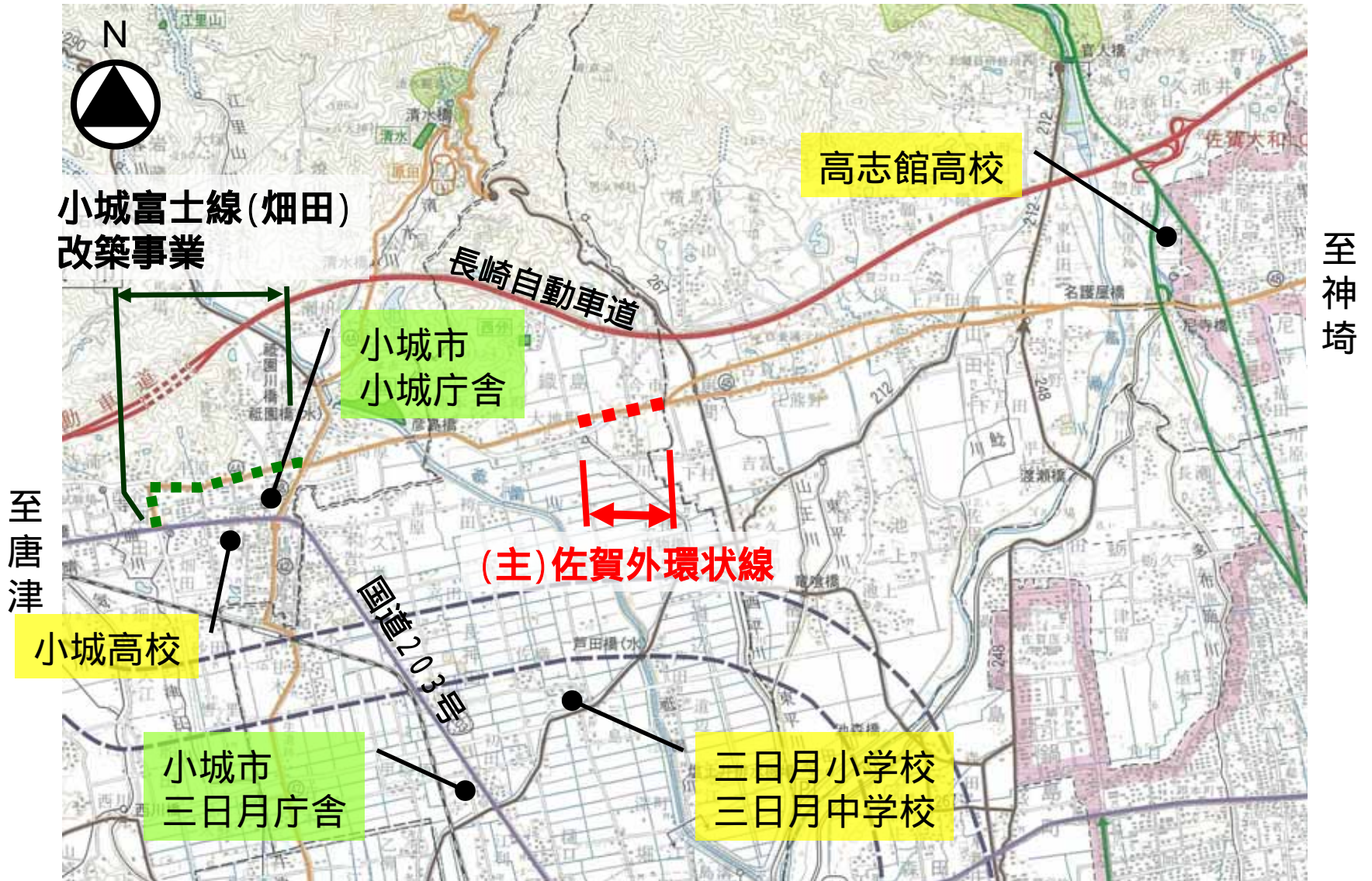
平成21年度 再評価委員会

路線名：主要地方道 佐賀外環状線
(織島工区)

事業名：地方特定道路整備事業

(着手より10年経過のため再評価)

主要地方道 佐賀外環状線 位置図



事業目的

歩道未整備で
通学者が危険



幅員狭小で
車両交通に支障



現道拡幅(歩道含む)整備により

交通の円滑化、通学者の安全性確保

事業概要

- 全体事業費：3.0億円
- 工期：平成12年度～平成24年度(予定)
- 全体延長：L = 390m
- 事業内容：改良工 L = 390m
用地買収 1,729m²
家屋補償 5戸

事業の進捗状況

	平成20年度まで	平成21年度	平成22年度以降
事業費(億円)	2.1	0.3	0.6
進捗率(%)	70.0	80.0	100.0
用地進捗率(%)	37.2	68.0	100.0

事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 交通量の増加

H9 16,250台 / 日 (基準)

H11 16,548台 / 日 (1.02)

H17 18,585台 / 日 (1.14)

- 本路線は交通量が増加傾向にある。

小城富士線(畑田工区)の改築事業を進めており、これが完了すれば交通量の増大が予想される。

費用対効果の要因の変化

- 事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。

$$\text{費用便益比 (B / C)} = 5.8 / 3.6 = 1.6$$

- 【便益】

走行時間短縮便益	=	5.5億円
走行経費縮小便益	=	1.3億円
交通事故減少便益	=	-1.0億円
合計		5.8億円

- 【費用】

事業費	=	3.4億円
維持管理費	=	0.2億円
合計		3.6億円

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 再生資材の利用促進を図っている。
- 工事で発生する残土を盛土等に流用する。

(代替案の検討)

- 特になし

対応方針(事業課案)

- 事業の必要性に変化が無い。
- 現在も、依然として交通の円滑化と交通安全の確保が出来ていないことから、引き続き事業を継続したい。